

齋宮歴史博物館所蔵の品々を特別な物語とともに深く掘り下げ一品ずつテーマを決めてお伝えします。

※この展示資料の中には文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金による修理成果品が含まれています。

# 令和2年度 逸品



～エントランス無料企画展示～

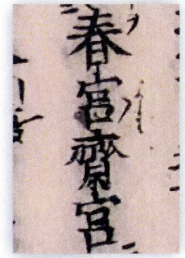
齋宮歴史博物館

## ～展示紹介～

### 第1回 酒人齋王が入った「野宮？」

期間：令和2年5月26日（火）～8月28日（金）

酒人内親王は、<sup>こうにん</sup>光仁天皇と元・齋王で聖武天皇の娘、井上内親王の間に生まれた皇女で、史跡東部の齋宮に初めて入った齋王とみられています。現在読むことができる『<sup>しよくにほんぎ</sup>続日本紀』では、彼女は宝亀三年（772）十一月十三日に「伊勢齋」になり、「春日齋宮」に入ったとしています。江戸時代に出版された『続日本紀』には「春宮齋宮」となっているのです。これは単なる摺り間違いなのか？春宮齋宮と読むことで何が変わるのか？史料を読み込むことの面白さについての展示です。



続日本紀版本（部分）



昨年度の実習の様子

### 第2回 博物館学芸員をめざす学生たちが企画します！

期間：令和2年8月30日（日）～11月29日（日）

博物館実習で、学芸員資格の取得をめざす学生たちが企画する小展示です。

今回は、<sup>やつしろ</sup>鳥羽市神島八代神社に伝来した古代遺物のレプリカから選定して展示を行います。

### 第3回 重要文化財を修復する理由<sup>ワケ</sup> ～史跡齋宮跡出土品の再生～

期間：令和3年1月5日（火）～3月21日（日）

史跡齋宮跡の膨大な出土品のなかでも、土器を中心に2,661点が国の重要文化財に指定されています。出土品は破片となった土器が大半を占めますが、考古資料の保存や展示等での活用のために修復（保存修理）を施すのは欠かせません。修理作業の様子や修復が完了した土器とともに、修復する目的についても紹介します。



修復前



修復後



### 第4回 平安時代齋宮の園芸

～齋宮出土の植木鉢？～

期間：令和3年3月23日（火）～5月23日（日）

齋宮での園芸や植栽は、平安時代に齋宮の外周にマツやヤナギを列植したこと以外は知られていません（『延喜式』）。しかし、春にはヤマザクラやウメなどの花樹、「重陽の節句」（9月9日）の際にはキクの花が愛でられていたかもしれません。さらに、齋宮寮庁のあった柳原地区（史跡公園「さいくう平安の杜」のある場所）とその周辺では、11世紀の植木鉢あるいは盆栽の鉢の可能性のある陶器が出土しています。平安時代齋宮の園芸文化の可能性を探ります。



齋宮出土の植木鉢？